

令和6年度山梨大学総合型選抜Ⅰ（物理系）
一般面接、口頭試問、物理・その他

[一般面接]

一般面接では、「調査書」ならびに「多面的・総合的な評価のための申告書」の内容を基に、希望するコースへの志望動機を含め5分程度の質疑応答を実施しました。

[口頭試問]

口頭試問では、運動ならびに波動に関する問題を出題し、口頭または配布した回答用の紙とペンを用いて回答する試験をおよそ15分程度行いました。回転する車輪を題材に、運動エネルギーや、車輪に外力が加わった場合の挙動についてその場で計算してもらいました。続いて、音のドップラー効果について、現象の説明や「波長、振動数、音速」の関係についての説明、ある条件下において観測される振動数について算出する問題に答えてもらいました。

[物理・その他]

物理・その他では、「電気と磁気」に関する基礎的な技術や技能についての実技を伴う課題を出題し、回答してもらいました。面接試験開始前に問題を配布し20分程度の思考時間を設けることで、課題の内容をあらかじめ整理してもらいました。その後、20分程度の実技を伴う面接試験を実施しました。課題は、用意された乾電池、電流計、電圧計、ミノムシクリップ付き導線、電気抵抗各種を用いて回路を作成し、電池の内部抵抗を測定するという内容でした。